

蓮川・ヌタハラ谷

【日程】 2016年7月18日

【エリア】 台高・櫛田川水系

【形態】 沢登り

【メンバー】 Y川、T、O田

【報告】 O田

《ルート／タイム》

7月18日

大宇陀道の駅 (5:45) ～ヌタハラ谷出合 (07:15) ～夫婦滝下部 (9:00-12:00) ～
不動滝 (13:30) ～檜塚 (16:00) ～P1214～林道経由～出合 (18:05)

《報告》

一年ぶりの沢登りとなった。台高でも人気の明神平、その東に延びる檜塚の台地に突き上げるヌタハラ谷は以前からどのような沢なのだろうと関心があった。今回はY氏に加えて沢登りを今年からスタートしたT氏と3名のパーティ。大宇陀道の駅で合流して松阪市へ向かう。

ヌタハラ谷出合は一昨年に遡行した蓮ダム奥の野江俣谷からさらに深部にある。林道は駐車地1キロほど手前から砂利道に代わり、四駆での走行が望ましい。遡行地図どおりに架橋の手前を右に登るとほどなく駐車スペースが見つかる。

入渓地点からは優しい沢の流れがつづく。途中、かつての台風の影響か、山抜けしている崩壊地にも出会った。そして今回の沢の核心は夫婦滝。下段35m、中段8m、上段55mの100mにも及ぶ長大なスケールだ。しかし最下部から最上部は藪などにさえぎられて全貌を拝むことはできない。

35m滝を左岸の岩稜に沿って高巻し、いったん8m滝の上部あたりまで降り、また55m滝を高巻しながら沢の落ち口に戻る。とくに上段滝は灌木を支点にとりながらの3ピッチほどのクライミングだ。このように書くと、一行程度で済んでしまうが、実際は2時間以上をかけながら滝の全容を左に見やりながらの高巻きとなった。なお、さらに大きな高巻きをすれば、短縮した時間で通過できるのかもしれない。



(上) 夫婦滝。中段と連なる上段



(上) シャワークライミングが続く

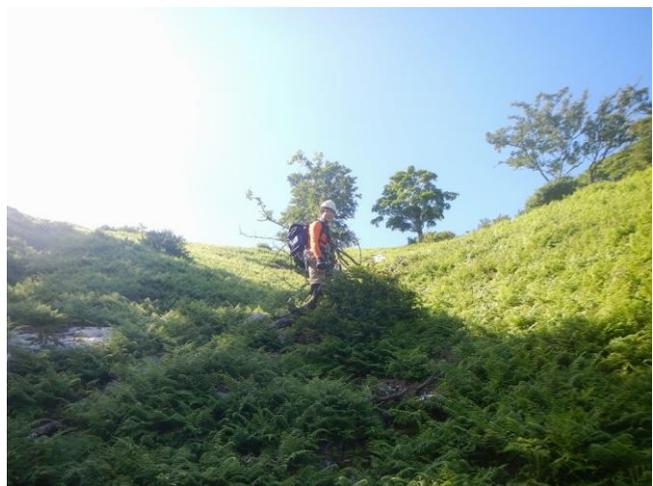
その後はナメ滝や斜滝が連続して気持ちの良い遡行が続く。

不動滝は2段50mとある。左岸巻きで登るが、あっさりと抜けられる。なお、高巻きの上には途中で旧木馬道というそれなりに踏み跡のある道に合流する。

遡行の最後に向けて繋がるのはネコ滝、アザミ滝だ。沢上部で30m規模の滝が2個も続く滝はそう多くないだろう。遡行者を飽きさせない滝だともいえる。最期の滝は右岸巻きするものの、岩稜にはばまれて左方向に巻いていく。



(上) 不動滝にて記念撮影



(上) 沢の最後の詰めは草原が待っていた

沢を詰めた後は上部に明るい草原が待っていた。明神平方面から来た親子ハイカーだろうか。途中で挨拶を交わし、沢遡行は終了。ギア類を外し、しばらく進むと桧塚奥峰手前10mの分岐にたどり着く

下山はP1214まで尾根を忠実に東側へ下っていく。1214から林道までは潤沢なテープを頼りに林道めがけて尾根を下る。やや急なうえに沢靴での下山だから何回も滑った。林道から出合いまでは約30分ヘアピンカーブを下っていく。作業車両も入るのだろうか、しかし砂利によって道が崩落も著しかった。

今回は沢中と最期の着替えでヒルと1回ずつご対面し、下山後は香肌溪温泉・スメールにて汗を流して帰途に着いた。